

第三大成小学校の長尾です。時間が押し迫っていますけれども、今日は、一年生と二年生の子どもたち、それから、担任の先生方から、学生の皆さんに、ぜひ「ありがとうございました」とお伝え下さいということで、頼まれてきました。本当に私は講評というよりも、感謝の気持ちを述べたいなと思っています。

最初は羽賀先生からお話があったときには「どのような内容をもった活動なのか、授業なのか？」とわからなかったのですが、だんだん見えてきました。学生の皆さんと三大的子どもたちが実践的にふれあうことを通して、学生の子ども理解を支援するという大切な意義があるということがわかり、お引き受けしました。本当にあらためて、「この授業を引き受けてよかったな」と思っております。

私は一番感動したのは、先ほどスライドにもありましたけども、あの遊びが終わって、お礼の言葉を言ってお別れする時に、自然に、学生の皆さんと子どもたちが一人ずつ握手をしたんです。あれは全然予定になかったことであって、そのまま「さよなら」と別れればよかったのですが、もう本当に握手したんですよ。100何人でしょうかね、一人ずつ握手して、あの時に校長としてよかった、子どもたちに感動を与えてくれた学生さんたちに「ありがとう」という気持ちでいっぱいだったんです。

(子どもたちの)感想には、一年生で本当に短い言葉なんですけど、桜庭みさきちゃんは「魚釣りがおもしろかった。動物たおしもおもしろかった。ニワトリをたおした。」これだけなんですけど……。つぎは、だいすけ君「9月25日のゲームで一番楽しかったのは、ボーリングです。二番目は飛行機です。すごく楽しかったです。魚釣りで95点とれたのがうれしかったよ。」。点数とか、わかるでしょ？、子どもたちは皆さんが苦労された分ですね、楽しかったのです。

図書室で最後にお話ししたのですが、学習には教科書のあるもの、教科書のないものいろいろあるのですが、これは全く教科書がないものですから、先生の力を10とすると、6, 1, 3の割合で力をいれなければならないという話をしたと思うのですが。

6というのは本番の前までのいろんな事前の準備なんですね。学生の皆さんは、梵珠少年自然の家でのいろんな体験も6に入ると思います。あとは何回か(大成小に)おいでになって「どういう場所なのか？ どういう条件で、どのくらいの広さか？」というところを事前にしっかりと考えて、見て、調べて、人数を聞いたりとか、こういう事前の準備を計画の中に入れて。また(子どもたちに)期待感を持たせるためにポスターを作ったりとか。あれは、すごかったですね。ドラえもん絵もうまかったですけど。いろいろな期待感を持たせて置いたりとか。あとは手作りの道具・遊具です。皆さんが心を込めて遅くまでたぶんかかったのではないかと思うのですが、ペットボトルもどこから集めてきたのかわかりませんが、いっぱいありましたね。そして段ボール(動物たおしの)とかも。本当に心がこもっていて、そして子どもの興味関心はどうなのかな、とイメージしながら皆さんは作ったはずですよ。だから子どもたちが「ありがとう」という気持ちで、また楽しくもあったと思うのです。

6, 1, 3の1は実際にやっている時です。準備は6で整っているのですから、あとは子どもたちとふれあうこと、笑顔で話したりする。

今日は多分3のあたりかな。1年間やってきたことの中で、よかったことはなんなのか、自分がいろいろ経験した中でどういうところがよかったのか等をまとめ、次に生かすというのが、おそらく今日のあたりかの学習と思う。

私としては皆さんのおかげで、子どもたちが皆さんと関わることが出来て本当によかったと感謝しています。来年もまたこういう機会があれば、三大小学校は是非喜んでお引き受けしたいなと思っています。本当にありがとうございました。